

2001.4.11

現代日本論講読 I

論文作成の基礎

東北大学文学部 2001 年度
田中 重人 (講師)

1

【目的】

論文の書きかたを習得

- ルール (4~5 月)
- テクニック (6 月)
- プロセス実習 (7 月)

2

【教科書】

木下 是雄、1981『理科系の作文技術』(中公新書) 中央公論社。

★授業中の課題で使うので
かならず購入のこと

3

【授業の形式】

- ★ 講義+実習
- ★ 2つの長期課題(配布資料)
- ★ 毎回の実習課題・宿題・長期課題・期末レポートで成績評定
- ★ 授業予定は配布資料参照

4

- 授業全体の計画説明
- 「登録フォーム」記入

5

【理科系の文章】

- ★ データに基づいた論理的推論
- ★ 必要十分な記述
- ★ 盗用厳禁
- ★ 通常文の比重がちいさい
(図表・数式・構造が重要)

6

【参考文献】

木下 (1981) に欠けているもの :

- ★ 研究の糸口
- ★ ワードプロによる執筆プロセス
- ★ 文科系の作法

辞書類 (広辞苑、類語国語辞典)

7

パソコンを使える環境を確保しておくことがのぞましい

- ★ 論文執筆にワープロは必須
- ★ 当授業のレポートは自筆不可
- ★ 大量の文章と図表をあつかえるものをえらぶ

8

来週は……

「事実と意見」

(教科書第7章)

9

2001.4.11

現代日本論講読 I (田中重人) 受講登録フォーム

氏名：

学年：

学生番号：

所属（文学部日本語教育以外の場合）：

興味のあること（非学術的な話題も可）：

つぎの質問にこたえてください（あてはまるものに○）

- ・ 自宅でパソコンまたはワープロがつかえますか？ **つかえる / つかえない**
- ・ 6,000 字以上の長さの文章を書いたことがありますか？ **ある / ない**
- ・ 受験勉強で「小論文」の練習をしたことがありますか？ **ある / ない**
- ・ 学術雑誌にのっている論文を読んだことがありますか？ **ある / ない**

1. 事実と意見
2. 事実と意見の区別
3. 根拠のある意見

1

【教科書 116 頁の実例】

意見：日本における物性論の優位



事実：学会のセッション数の比較

根拠となる事実を示せば、
意見の説得力が増す。

2

【事実と意見】

- G.W.は米国の初代大統領
- G.W.は米国の最も偉大な大統領

事実とは……

- 個人の内面から独立
- 誰でも同じ判断ができる

3

意見とは……

- 個人の内面にしか存在しない
(感情、犯罪など)
- 判断基準が確立していないもの

4

※ 発言や文章は「事実」

※ 実質的に他人には確認できなくとも、原理的に確認可能なら「事実」

5

つぎの文章は？

- 今日は2001年4月18日である。
- 仙台の冬は寒い。
- Aさんは風邪で学校を休んだ。

6

【事実と意見の区別】

論文の定型

- 問題提起
- 仮説
- 材料と方法……**事実**
- 分析結果……**事実**
- 結論……**意見**

7

事実と意見はできるかぎりわかる

★ 章・節レベルで……前述

★ 文レベルで……事実の記述には修飾語を使わない
(比較の場合や確立した定義がある場合は別)

8

「科学的」文体の基本

- 主観をまじえず事実を記述する
- 事実に基づく意見
根拠となる事実を具体的・明確に書くことで説得力が高まる

9

現代日本論講読 I 2001.4.18

課題 (田中 重人)

氏名：
学年：
所属：
学生番号：

(1) 教科書 p. 114 演習 (b):

「大腸菌のべん毛.....」の文を書き直せ

(i) 事実の記述だとした場合

(ii) 意見の記述だとした場合

(2) 「子供の学力が低下している」ことを意見として主張したい場合、どのような事実を根拠としてあげればよいか。

現代日本論講読 I 2001.4.25 第 2 回課題回答例

田中重人

(1) 教科書 p. 114 演習 (b)

「大腸菌のべん毛を動かす回転モーター」に関して

(a) 数十個のタンパク質分子からなる

(b) 直径は約 20nm である

というふたつの記述がある。これらのうち (a) は、「おそらく」という副詞があるので、著者の意見であることがはっきりしているが、(b) はそうではない。

(i) (b) が事実の記述だとした場合の書き直し例

文を分割することがポイント。記述の順序にも注意。

大腸菌のべん毛を動かす回転モーターは径 20nm ぐらいの“分子機械”である。この“分子機械”は数十個の蛋白質分子が組み合わさってできていると私は予想している。

(ii) (b) は意見の記述だとした場合の書き直し例

著者の意見であることを明示する。

大腸菌のべん毛を動かす回転モーターは、数十個の蛋白質分子が組み合わさってできた径 20nm ぐらいの“分子機械”だと私は予想している。

(2) 「子供の学力が低下している」ことを意見として主張したい場合、どのような事実を根拠としてあげればよいか。

【正攻法の回答】

現在の「子供の学力」を測定して、測定結果が過去の同質のデータより低いことを示せばよい。

ただし

- ・ 誰を「子供」とみなすのか
- ・ 「学力」はどうやって測定するのか
- ・ 「過去」とはいつか
- ・ 比較可能な試験や調査が過去におこなわれているか

といった問題があるため、手に入るデータは限定される。実際に根拠付けることができるのは、たとえば「2001 年の中学生の計算能力は 1991 年よりも低い」といった意見になるだろう。

【周辺の回答】

学校のカリキュラム、入学試験の問題、教師からの聞き取りなどによって、過去とどうちがっているかをしらべる。

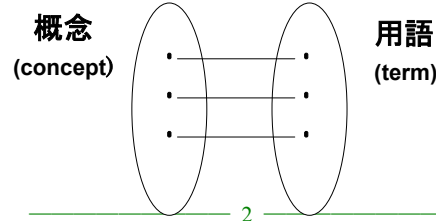
「学力の低下」そのものをしらべているのではないから、根拠としては弱い。ただ学力を直接測定するよりすくない労力ですむので、てっとりばやく傍証をえるにはよい方法である。

1. 概念と用語
2. 多義性とのたたかい
3. 飛躍のない文章

1

【概念と用語】

1対1対応



2

- ★ 同じ概念はつねに同じ用語で
(いいかえてはいけない)
- ★ すこしでもちがう概念には
そのつどちがう用語をあてる

3

【例】

家族内権力構造の研究

- ・ 家庭
- ・ 世帯
- ・ 家計
- ・ 夫婦
- ・ カップル
- ・ 勢力
- ・ 権威
- ・ 権限
- ・ 決定権

4

【適切な用語の選択】

- ★ その分野の定番の辞書・教科書
- ★ 教師・専門家にきく
- ★ 他言語(特に英語)訳を考える

自明でない用語や通常の用法からずらす場合は必ず定義する。

5

【例】

「パラサイト・シングル」=学卒後も親と同居し、基礎的生活条件を親に依存している未婚者

山田昌弘、1999『パラサイト・シングルの時代』筑摩書房、p. 11。

6

論文を読んだり書いたりときは、そのなかにてでくる概念と用語の一覧表をつくってみるとよい。
(「主な登場人物」みたいなもの)

7

【多義性とのたたかい】

論文は「誤解できないように書かなければならない」(教科書 p. 125)

- ★ あいまいな単語
- ★ 係り受けの問題
- ★ 並列要素のあつかい

8

【あいまいな単語】

- A の2倍の大きさの孔
直径/面積
- 仙台市の南側
南部/より南方

意味の確定した単語で置き換え

9

【係り受けの問題】

- 黒い目のきれいな女の子
→きれいな黒い目を持つ少女
→黒い目の美少女

・ 語順の入れ替え ・ 読点を打つ
・ 文節を合併 ・ 文の分割

10

- AはXという現象を発見した。
これは……
この現象/この発見

指示語には名詞をおぎなう

11

【並列要素のあつかい】

- 死刑もしくは無期または3年以上の懲役
→死刑または無期懲役または3年以上の懲役

・ 多段階の入れ子にしない
・ 表や箇条書きを利用

12

- ★ ひとつの文章に対して、あらゆる解釈の可能性を考える
- ★ 読者の予備知識にたよらない

13

【飛躍のある文章】

- 仙台市は日本の東北地方にある。
でも雪はあまり降らない。

個々の文は「読者がそこまでに読んだことだけによって理解できなければならない」(教科書 p. 76)

14

【まとめ】

- ★ 書き手にとって自明なことで、読み手にとってはそうでないことがある
- ★ 読み手が迷わないような配慮が必要

15

- ★ そのためには、他人になったつもりで自分の文を何度もチェックしなければならない

16

現代日本論講読 I (田中 重人)

2001.4.25 課題

氏名：
学年：
所属：
学生番号：

別紙の論文を読んで、

- (1) 同一の概念を別の用語で表現しているところ、
- (2) 文章表現が多義的なところ
- (3) 文章に飛躍があるところ

を摘発せよ。

(1) 同一の概念を別の用語で表現しているところ

用語のリスト	出てくる個所の段落番号

(2) 文章表現が多義的なところ

内容	段落番号

(3) 文章に飛躍があるところ

内容	段落番号

前回課題解答例

別紙の論文を読んで、

- (1) 同一の概念を別の用語で表現しているところ、
- (2) 文章表現が多義的なところ
- (3) 文章に飛躍があるところ

を摘発せよ。

- (1) 同一の概念を別の用語で表現しているところ

用語のリスト	出てくる個所の段落番号
「日本」「わが国」	
「他の先進工業国」「欧米(諸国)」「アメリカ?」	
「結婚退職型」「結婚後無職」	
「労働力供給」「労働供給率」	
「人的資本を形成するチャンス」「企業内訓練」	

- (2) 文章表現が多義的なところ

内容	段落番号
「学歴はその双方に対し」 意味上は「代替効果と所得効果」だが 文法上は「経緯」にかかる	
「そのような傾向」 「学歴は既婚女性の労働供給を促進する」傾向か? 「学校教育の.....機能により.....促進する」傾向か?	
Goldin の発見はどこまでか ・ アメリカの傾向のみ? ・ アメリカとヨーロッパの傾向? ・ 学校教育の社会化機能まで? ・ 学歴と代替効果・所得効果との相関関係まで?	

- (3) 文章に飛躍があるところ (下線部)

内容(推定)	段落番号
<p>“ 出産・育児が初期キャリア形成時期に重なるため、女性は企業内訓練を受けさせてもらえない。<u>このため学校で身に付けてきた人的資本を職場で発揮できない。このことが、日本女性の退職率に学歴の効果があらわれない原因である。もし企業内訓練を女性に与える職場があったなら、高学歴女性の退職率は低くなるだろう</u>” というのが Brinton の説。</p> <p>これに対して Higuchi は “実際に女性に企業内訓練を与えている職場を調べてみたが、高学歴の女性の退職率は別に低くはなかった” といって反証を提示している。</p>	
<p>なぜ少数派のことが問題でないのかが書いてない。</p> <p>“ (19xx) の研究から、一生に一度も就業を経験しない女性は少数派になっていて、大部分の女性は学校卒業後にいったんは働いている、ということがわかっている。<u>一方で私は、~という理由で、人口の大部分を占める人々の問題を優先的に研究対象にとりあげたいと思っ</u>ている。そこで本研究では、学校卒業後にいったん働きはじめた女性のうちどれだけの人が働きつづけるのかということ</p>	

1. 文献参照の目的
2. 文献参照の種類
3. 引用ルール
4. 文献表の作成と書誌情報
5. 文献表との対応づけ

1

【文献参照の目的】

- ★ 他人の研究成果やデータを利用する際の出典の明示
- ★ 読者が原典を入手して検討できるようにする
- ★ 文献の紹介

2

つぎの事項は文献参照不要

- ★ 一般的常識、学問上の基礎知識
- ★ データの確認法が自明の場合

出典に関する疑問を感じさせることを述べる際にはかならず出典を明示する

3

つぎの例は?

- ・ 仙台市は日本の東北地方にある
- ・ 仙台市はおよそ北緯 38° 東経 140° に位置している
- ・ 仙台市の物価は山形市より高い

4

【文献参照の種類】

- 引用 (citation)……原典の文章をそのまま書き写す
- パラフレーズ (paraphrase)……原典の文章を変形/要約
- (狭義の)参照……書誌情報だけ

5

【引用ルール】

責任の所在を明確に

- ★ どこからどこまでが引用か
- ★ 引用文を修正したときはその場所と修正内容を明示

出典を明示して読者が確認できるようにする

6

【引用範囲の示しかた】

- インライン引用……「」でくって引用する。
- ブロック引用……前後に空行を入れて字下げする(「」はつかわない)

7

★ 1字1句たがえず正確に写す

例外:

- (1) 句読点の種類を本文とそろえる場合
- (2) 縦書き/横書きの変換に伴う漢数字/アラビア数字の変換
- (3) 原典の文字装飾や振り仮名を省略する場合

8

【キッコー (亀甲?) の用法】



あとから修正を加えたことを示す

9

- ★ 原典に誤りがある場合もそのまま写す(その個所には「ママ」と注記)
- ★ 原典の文章の一部を省略するときは「……」を入れる

10

- ★ 原典にない言葉を補うときは「」でくって補う
- ★ 太字や傍点で引用文の一部を強調することができる(引用文の後に「強調は引用者」と書く)
- ★ 出典はページまで表示

11

【パラフレーズの場合】

- ★ 原典の示し方は引用とおなじ。
ただし原典全体の結論や要約を示す場合は原典ページを示さなくてよい
- ★ 自分の文章との境界が明確になるよう文章を工夫する

12

【文献表】

- ★ 文中で参照した文献はすべて論文末尾の文献表にのせる
- ★ 文中での参照は、この文献表と対照させておこなう(後述)

13

【文献表に必要な情報】

- ★ 読者が文献を入手するのに必要な情報
- ★ 原典にあたなくても概略がつかめるように最低限の情報を示す

14

【書誌情報】

文献を特定するための情報を「書誌情報」(bibliography) という

★ 書誌情報の基本要素:

- ・ 著者
- ・ 発表年
- ・ 標題
- ・ 出版社

15

【図書館との連携】

文献は基本的に図書館で探す
↓
図書館での検索や複写依頼に必要な情報

- ・ 単行本の奥付
- ・ 雑誌の表紙

16

【本や雑誌を特定するには】
 単行本：著者、出版年、標題、出版社、版表示（後述）
 雑誌：標題（例外あり）

国立国会図書館 OPAC や国立情報学研究所 Webcat など検索してみるとよい

【本や雑誌の中の論文の特定】
 ● 巻号とページ数で特定する
 ● 読者の便宜のために、論文の著者・年号・表題も載せる。

基本形：著者（年号）「論文名」『書名・雑誌名』出版社、巻号：頁、入手法など。（付記すべき情報があればこのあとに）

【改版・再版・翻訳などの表示】
 ●刷（printing）……同じ原版から複数回印刷したもの
ただし単純な誤りは訂正されることがある
 ●版（edition）……原版そのものの変更

初版以外のものは版表示が必要。
 書名の後に括弧にくくって書く。
書名中に版表示をふくむ場合は書名の一部として扱ってもよい
 判型をかえたり他出版社から再版になった場合も同様に

翻訳の場合は、原著者のあとに訳者名を追加する。

いずれの場合も原書や初版の情報（特に出版年）を付記するとよい

【灰色文献】

図書館にあるとはかぎらないもの

学位論文、報告書、Working Paper、学会報告要旨、社史、組織内部資料、公文書、議事録、新聞記事など

→書誌情報をくわしく書く

【定まった規則がないもの】

Online 文書、Pamphlet、Microfilm、講演、レコード、映画、TV 番組・CF…

そのつど工夫する。
 所蔵場所や閲覧日付が重要
 Gibaldi (1998: 4 章) が参考になる

【文献表との対応づけ】

本文と文献表との対応を示す方法

- 番号方式：通し番号で管理
たとえば [1: 35-37]
- 著者年号方式：著者と年号の組み合わせで管理
たとえば (田中 1999: 35-37)

【番号方式の詳細】

- ★ 文献表の各行頭に番号を打つ
- ★ Alphabet などでもよい
- ★ 文献表の配列順は適当でよい
- ★ 対応づけは [著者: 番号: 頁]
・ 著者や頁は省略可
 ・ 「著者」のところは、他の適当な情報（書名・出版年・通称など）でもよい

【著者年号方式の詳細】

- ★ 文献表は著者名の順で配列（姓の 50 音または alphabet 順）
姓が先頭にこない場合は「姓、名」のようにコンマで区切って反転させる
- ★ 対応づけは (著者 年号: 頁) または 著者 (年号: 頁)
頁は省略可

- ★ 著者が存在しない文献についても適当な「著者名」をつける
- ★ 著者が多数の場合、(田中ほか 1999) のようにしてもよい
- ★ 機関著者名が長い場合、適当な略称で対応づけてよい
例：〔社人研〕国立社会保障・人口問題研究所 (1997) 『第 11 回出生動向基本調査』厚生統計協会。

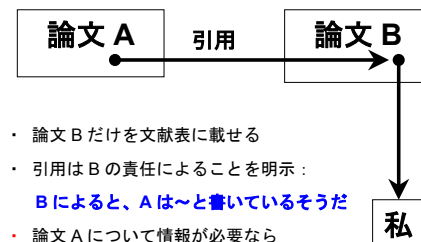
【両方式共通の注意事項】

- ★ 「頁」のところは、位置特定に必要なほかの情報でもよい
例：(田中 1999: 4.2 節) [1: 17 条]
- ★ 特別の文献参照法がある分野ではそちらにしたがってもよい
例：判例・聖書など

【孫引き】

原典に直接あたらなかった場合は原典を文献表にのせてはならない。

文献表は自分が責任を持てる情報源を列挙するものである



- ・ 論文 B だけを文献表に載せる
- ・ 引用は B の責任によることを明示：
B によると、A は～と書いているようだ
- ・ 論文 A について情報が必要なら
本文中に書く

【文献】

斎藤 学 (1988)『増補 学術論文の技法』日本エディタースクール出版部。
 中村 健一 (1988)『論文執筆ルールブック』日本エディタースクール出版部。
 Gibaldi, Joseph; 訳=原田 敬一 (1998)『MLA 英語論文の手引き』(第 4 版) 北星堂書店。
 植田 喜久次 (1992)『目録作成の技法 改訂版』日本図書館協会。

【参考 URL】

国立情報学研究所、「Webcat」、<http://webcat.nii.ac.jp/>。
 国立国会図書館、「Web-Opac」、<http://webopac2.ndl.go.jp/>。

現代日本論購読 I 2001.5.9 (田中 重人)

引用・パラフレーズの例

インライン引用とブロック引用

人口学者の大淵寛は、1960年代の高度経済成長の時代から1970年代の前半まで、男性の賃金が伸びたため、働く女性は減ってきていたと主張する。「女子の労働力率は高度成長期に下降し、低成長期に上昇した。〔……〕高成長期には夫の所得が順調に伸びたため、妻は労働市場から離れて家庭に戻った」[1: 22-23]。家族社会学者の山田昌弘も同様の主張を展開しているが、さらに(社会学者らしく)「中流階層」のライフスタイルと関連づけてつぎのように論じている。

戦後一番初めに西欧型近代家族を受容したのは、文化階層(つまり学歴)が高く、経済階層が中程度の人々である。学歴が高く、西欧文化を受容する意欲があり、かつ、女中を雇う余裕はないが妻を専業主婦にしておけるくらいの経済力がある都市のホワイトカラーや専門職層が、「夫 外での仕事、妻 家で家事労働」という家族形態をとり、少数の子どもを妻の手で育てるようになる。 — 山田昌弘 [2: 191-192]

引用者による訂正・補足・強調

就職後出産・子育てなどによる就業中断をせず定年退職まで勤務した場合、〔……〕その〔賃金の〕総額は約2億1,900万円となる。これに退職金の約1,700万円を含めた約2億3,600万円を生涯で得ることになる。しかし、結婚後第1子出産時に退職し、子育てが一段落した後に再就職するケースでは、再就職後は賃金が勤続年数が小さい〔ママ〕ことにより低くなり、上昇カーブも中断なしの場合の賃金カーブに比べなだらかになる。 — 経済企画庁『平成9年版 国民生活白書』[3: 51-52]。

原文にあった強調文字や傍点を残す場合は「強調は原文」などと注記する。

人に附属する日本国籍が誕生する前に、日の丸という船籍を示す対外的なナショナリティが生まれた。このことはかなり重要なことである。

— 嘉本伊都子 [4: 20] (強調は引用者)

パラフレーズ

高度経済成長期前期の電気洗濯機の普及は、洗濯のやりかたを一変させた。有斐閣『家族データブック』[5: 33]によると、日本ではじめて電気洗濯機が発売されたのは1953年のことで、価格は2万8500円であったという。

安田 [6: 59] は、階層間の移動——たとえば農業層出身者が農業以外の階層に移動する——を3類型にわけて整理した。社会移動にはその原因となるメカニズムによって「強制移動」「純粋移動」の2種類があり、それらの総和が事実としての社会移動量である「事実移動」になると考えたのだ。

文献

- [1] 大淵 寛 (1995) 「女性のライフサイクルとM字型就業」人口・世帯研究会 ; 監修= 大淵 寛 『女性のライフサイクルと就業行動』大蔵省印刷局、p. 13-35、ISBN 4-17-214900-6。
- [2] 山田 昌弘 (1994) 『近代家族のゆくえ：家族と愛情のパラドックス』新曜社。
- [3] 経済企画庁 (1997) 『平成9年版 国民生活白書：働く女性：新しい社会システムを求めて』大蔵省印刷局、ISBN 4-17-190472-2。
- [4] 嘉本 伊都子 (2001) 『国際結婚の誕生：文明国日本への道』新曜社、ISBN 4-7885-0760-9。
- [5] 久武 綾子 + 戒能 民江 + 若尾 典子 + 吉田 あけみ (1997) 『家族データブック：年表と図表で読む戦後家族1945~96』有斐閣、ISBN 4-641-07592-1。
- [6] 安田 三郎 (1971) 『社会移動の研究』東京大学出版会、ISBN 4-13-050035-X。

パラフレーズの範囲がはっきりするよう文章を工夫する。文または段落の区切りと一致させるのが基本である。

現代日本論講読 I (田中 重人)

2001.5.2 課題

氏名：
学年：
所属：
学生番号：

別紙にある書誌情報をもとに文献表を作成せよ

現代日本論購読 I 2001.5.9 (田中 重人)

前回課題解答例

(文献表の作成)

解答例

Toru Kikkawa + Makoto Todoroki (1998) 「School education and democratization of social consciousness in postwar Japan」『International journal of sociology』28 (1): 92-108.

メアリー・プリントン (1998) 「事務職の拡大」『日本労働研究雑誌』453: 36-49.

山岡 政紀 (2000) 「関係動詞の語彙と文法的特徴：照合行為の介在をめぐって」『日本語科学』8: 29-53.

Amy B. M. Tsui + John Fullilove (1998) 「Bottom-up or top-down processing as a discriminator of L2 listening performance」『Applied linguistics』19 (4): 432-451.

佐藤 忠男 (1996) 「映画のなかの日本とアジア」『岩波講座 現代社会学 第23巻 日本文化の社会学』岩波書店、p. 143-166.

Larry Wall + Tom Christiansen + Randal L. Schwartz (1996) 『Programming Perl』(second edition) O'Reilly & Associates.

解答のプロセス

まず雑誌か単行本かを区別する。雑誌の要件はふたつ：

- 定期的に刊行される
- 終わりが予定されていない

両方に当てはまるものが「雑誌」、それ以外は単行本である。

雑誌の場合

- 雑誌の名前(表題)がどれかをみきわめる。ほとんどの雑誌は名前だけで特定できるので、出版社などの情報は不要。(ただし例外もあるので、本当は図書館の検索システムなどで確認する。)

- 巻・号と出版年を特定する。
- 当該論文の著者と論文表題を特定する

著書の場合

- 著者(编者)、表題、出版社、出版年、版表示を特定する。
- 本のなかの1章などだけをのせる場合は、その部分の著者と表題と頁を特定する。

1文字でも間違えると検索できないので、細心の注意を払って書き写す。

こまかいテクニックなど

雑誌の巻号・頁に関して

- 「巻」「号」「頁」「vol.」「no.」「p.」などは省略して 19 (4): 432-451 のように書いてよい
- 1巻の中が何号にもわかれている場合で、頁が巻ごとの通し番号になっている場合は、号を省いてよい。

- 巻号が通し番号でつけられていて、それとは別に「月号」「春号」などの表示がある場合は、巻号の番号だけを載せる。

出版社に関して

- 出版社の代表者などの氏名は無視して、社名を載せる
- 「株式会社」「財団法人」「Inc.」「Co. Ltd.」などは省略する

著者以外の協力者(挿絵・解説・監修など)は省略してもよい。のせる場合は役割表示をつける(「挿絵= 安野 光雅」などのように)

その他

- アルファベットの大/小文字はデータベース上では同一の文字としてあつかわれるので、奥付などの記載を写す必要はない。当該言語のルールにしたがって適当に記述すればよい。
- 著者名や表題などで2ヶ国語以上の記載がある場合は、どちらか一方だけを採用すればよい。ただし雑誌表題に日本語名と英語名がある場合は、英語名を記述すると特定できないことがままあるので注意。
- 書名・雑誌名・論文名などの副題は省略してもよい。
- 雑誌名の冒頭の“The”は省略する。

さまざまな流儀

- 著者が複数の場合の区切り記号としては+のほか、コンマ(,)やなかぐろ(・)や読点がつかわれる
- 出版年を最後に置く流儀もある。
- 出版社のところにその会社の所在都市名を注記することもある
- 日本語か欧語かで書法をかえる流儀もある。
- p. は単数形なので、複数の頁をさす場合は pp. と書くのが伝統的なやりかたである。
- 理系の分野では、論文名は省略する流儀のところがおおい。その場合でも論文著者名は省略しないようである。
- 書名や雑誌名はイタリック、巻号はボールド(太字)などのように字体をかえて書誌情報を区別する流儀もある。

1. 情報をめぐる利害
2. 秘密を守る権利
3. 経済的利益の保護
4. 著作権 (copyright)
5. 学問上の優先権 (priority)

1

【情報をめぐる利害】

文章を書く＝情報の流布

→他人の利害との衝突

- 個人の秘密
(名誉・プライバシー)
- 情報からえられる利益
(知的所有権・著作権・優先権)

2

【秘密を守る権利】

● 名誉毀損罪 (刑法 230 条)

「公然と事実を指摘し、人の名誉を毀損した者は〔……〕に処す」

● プライバシーの権利……判例「宴のあと」事件 (東京地裁 1964.9.28) 「私生活をみだりに公開されないという法的保障」

3

名誉やプライバシーの侵害が許容される例外的な条件：

- 公益性が高い
- 内容が真実である

(刑法 230 条の 2 第 1 項ほか)。

4

つぎの場合は許容基準があまくなる：

- ・ 死後相当の期間がたっている場合
- ・ 著名人である場合

5

公表前に十分な準備

- ・ 真実性の確認
- ・ 当事者への情報開示
(文書の性質、公開の範囲など)
- ・ 当事者に許可をとる
- ・ 文章の当事者チェック

許可のないまま公表するときは
相応の覚悟を。

6

気づきにくい場合：

- ・ 他人の容姿が特定できるような写真
- ・ 日常生活でのエピソードを書く場合

7

【経済的利益の保護】

登録手続きを経て発効する工業所有権

- 特許権
- 意匠権
- 商標権
- 実用新案権

特に手続きのいらぬもの

- パブリシティ権
- 著作権(の経済面)

いずれも、経済的利害がなければ問題なし

8

【著作権 (copyright)】

(「版權」は旧称)

著作権者は著作物について
種々の権利を持つ

- 複製
- 貸与
- 変形
- 展示
- 口述
- 翻訳
- 放送 など

9

【著作物】

「思想または感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」(著作権法2条)

・アイデアやデータそのものではなく、**それらの表現されたかたち**が保護の対象になる。

10

「著作物」の例：

- ・ 職業別電話帳
- ・ 総選挙の立候補者リストに当落予想の印をつけたもの、
- ・ 国土地理院の地形図を編集した地図

11

- ★ 著作物の作成者は自動的に著作権者になる (登録の必要なし)
- ★ 著作権は譲渡することができる
- ★ 作者の死後一定の期間 (国によってちがう) が経過すると消滅する

12

著作権者の許可なしに複製・販売・上演などをしてはならない

例外：

- 私的利用のための小規模な複製、
- 正当な範囲での引用

13

【著作物からの引用】

許容範囲 (教科書 p. 165 に田中加筆)

- 公表された著作物から通常の文章だけを引用する場合
- 引用は 400 字以内
- 引用に関するルールを守っていること
- 引用文が自分の書くものの 2 割以内
- 著作物の全体を引用してはならない

14

【文章以外の引用】

- 絵画, 図面, 写真, CG など
著作権者の許可 (教科書 p. 166)
- 表, 詩歌, キャッチコピーなど
許可をとるほうがよい。歌詞については日本音楽著作権協会 (JASRAC) が手続きを代行していることが多い。

15

【学問上の優先権 (priority)】

- ★ 他人の発想や発見を自分のものであるかのように詐称 (plagiarize) しない
- ★ 引用または参照によって誰の業績かをはっきりさせること

- ◇ 著作権とはちがって消滅しない
- ◇ 当事者への連絡・許可は不要

16

【注意事項】

大学のレポートにおける plagiarism は、筆記試験における cunning と同様の不正行為とみなされる。

17

【文献】

西田 典之 + 山口 厚 (2000)『ジュリスト増刊 刑法の争点』(第3版) 有斐閣、ISBN 4-641-11313-0。
竹田 稔 + 堀部 政男 (2001)『新・裁判実務体系 9 名誉・プライバシー関係訴訟法』青林書院、ISBN 4-417-01224-5。
千野 直邦 + 尾中 善子 (2001)『著作権法の解説』(3訂版) 一橋出版、ISBN 4-8348-3606-1。

18

【様式】

- ★A4 用紙 ★縦置 ★横書き
- ★上下左右の余白 2cm 以上
- ★分量は 2~10 ページ程度
- ★左上ホチキス止め

1

- ★ 2 部作成して提出 (6/27)
- ★ **うち 1 部は氏名・所属を抹消**
(相互コメント用)
- ★ ページ番号は下端に中央揃え
- ★ 2 段組/両面刷にしてもよい

2

【最初のページ】

- 種別 ●日付
- 表題
- 氏名 ●所属

★とりあげた素材の書誌情報がわかるように

3

【内容】

つぎの 2 点をふくんでいなければならない

1. 概要の紹介
2. 批判

4

1. 概要の紹介

素材に書いてあることをまとめる。

読んでない人にもわかるように。

一部だけの紹介でもよいが、その場合はそのことを明記する。

5

2. 批判的コメント

データに照らしてまたは論理的に批判

6

- ★ 適切なセクションに分割すること。各セクションには番号と表題をつける。
- ★ 素材からの引用はページ数を明記
- ★ ほかの文献を参照するときはルールにしたがうこと

7

- ★提出は 6/27 だが、それ以前に誰かに読んでもらって書き直しておくのがのぞましい
- ★田中のところに相談にきてもよい：
(文・法合同研究棟 2F 日本語教育学研究室)

8

【注記の方法】

補足的な説明は注(註)にまわす。

- その個所の文字の右肩に註番号を打った上で、
- ・ そのページの下端に内容を書く(脚注)
 - ・ 論文の末尾に「注」というセクションを設けてそこに内容を書く(後注または尾注)

9

「現代日本論演習I」長期課題1 2001.5.30 提出

書評

山田 昌弘 (1999) 『パラサイト・シングル時代』筑摩書房

田中 重人

東北大学文学部 年生 (日本語教育学研究室) 学籍番号 xxxxxxxxx

1 この本の概要

1.1 パラサイト・シングルとは

「パラサイト・シングル」とは、「学卒後もなお、親と同居し、基礎的生活条件を親に依存している未婚者」(本書11ページ)をいう。「パラサイト」(parasite)とは英語で「寄生」を意味する。寄生虫とおなじように宿主(=両親)から養分(=基礎的生活をささえる物質的条件)を補給しながら生活を楽しんでいる親同居未婚者のことだ。このパラサイト・シングルたちの行動や意識に焦点をあてて、現代日本社会がおちいつている閉塞状況を解説するのがこの本の主要なテーマである。

1.2 パラサイト・シングル社会の特徴

パラサイト・シングル層をまず特徴づけるのは、生活の豊かさである。日常的な衣食住を同居親にささえてもらっているから、自分のかせぎは付加的消費すなわちレジャー支出、豪華な外食、ブランド品などにまわすことができる。パラサイト・シングルが付加的消費にむけるエネルギーが、近年のヒット商品をうみだしている(42ページ)。

一方で、パラサイト・シングルの増大は基礎的な消費をおちこませる。家を出ないで結婚もしない若者が増えると、住宅・家電製品・耐久消費財などの基礎的消費がおさえられる。付加的な贅沢品需要による「パラサイト消費」が脚光をあびる影で、基礎的消費の伸び悩みがじわじわと日本経済をむしばんでいるという(96ページ)。

また、若者の生活水準の二極分化が進む。若者自身の収入格差はそれほどないにもかかわらず、親の経済的利用性が高い若者は豊かな生活を享受し、そうでない若者はあくせく生活に追われるという格差がうまれている。これは自分の努力次第で報酬が決まるという業績主義の理想の崩壊を意味する。このことは若者の努力目標をうばい、依存主義を蔓延させる結果をもたらす(124ページ)。

そしてもちろんパラサイト・シングルの増大は、結婚をめぐる状況をかえていく。親と同居してリッチに暮らす若者の生活水準は、結婚してあたらしい所帯をかまえた

たんに低下してしまう。パラサイト・シングルにとって結婚というのはあまり魅力のない選択肢なのだ。最近の急激な未婚化・少子化の主要因はパラサイト・シングルの結婚難だというのが著者の見立てである(80ページ)。

1.3 日本はなぜパラサイト・シングル社会になったのか

読者はおそらく、パラサイト・シングルはどうして現代の日本社会で出現したのか、という疑問を持たれるだろう。この疑問にこたえる部分(5,6章)は近代家族論を研究してきた著者の面目躍如たるところなので、ぜひ原文を読んでいただきたいのだが、かいつまんでいえばつぎのようなことである。

近代社会は「子供のために」という規範をつくりだした。子供をよりよく育てることが親のつとめだという意識、いわば「子供中心主義」がひろがったのである。ただし先んじて近代化をすすめた英米北欧ではプロテスタントの教義に影響されて自立を尊ぶ規範が強く、子供中心主義を中和していた。そこでは親が無限定に子供の面倒をみつづけるのではなく、子供をはやく独立させて自分の力で生きていけるようにしつけるのが理想とされていた。これに対して自立規範の比較的弱い日本社会では、子供が親から独立することはさほど強く要求されない。むしろ子供に苦勞させまいと親が長期間サポートする傾向のほうが強い。この基盤的条件に、寿命の伸び、経済成長をなしとげたことによる経済的余裕、晩婚化、若者の消費欲求の増大、若者の賃金を抑える日本的雇用慣行、若者の大都市流入が一段落したことなどの条件があわさって、1970年代以降にパラサイト・シングル層が出現する。

1.4 著者の提言

著者はパラサイト・シングルにきびしい目をむけている。現在の日本社会を停滞させ、不公平をうみだし、将来を暗くしている元凶だとみているのである。そこで若者を親からひきはなし、自立して生活できるようにする政策が必要だと訴える。著者によれば、現在の経済環境にいちばん適合的なのは、夫婦共働きで家事・育児を分担しあってそこそこの生活をするライフ・スタイルであり、そのような暮らしが可能になるように政策や雇用慣行をかえるべきだということになる。

2 この本への評価

この本の魅力は、従来の研究が見落としてきた死角に斬り込んだあたらしさにあるだろう。反面、厳密な論証という点ではつめが甘い。

2.1 数量データの信頼性の問題：パラサイト・シングルの人口規模は？

わたしがいちばん気になったのは、いったいパラサイト・シングルは何人いるのかということだ。本のなかでは1000万人という数字がしばしば顔を出す。だがこれは単

に親と同居している未婚者を数えあげたときの人数であり、全員が親に寄生できるわけではない(57ページ)。親同居未婚者中のパラサイト・シングル率を推しはかるデータとしては、個室を持つ者が9割、家事のほとんどを親にまかせている者が8割という数字があがっている。これに月10万円以上の小遣いをつかえる者が4割程度というデータをあわせると、基礎的生活を完全に親に依存していて高額消費が可能なだけの経済的余裕のある者の率は $0.9 \times 0.8 \times 0.4 = 0.288$ すなわち3割弱と推定できる(36~40ページ)。とすると親同居未婚者1000万人のうちでパラサイト・シングルといえるのはせいぜい300万人程度ではないか。それだっただけに相当な人口規模ではあるけれども。

数量面でのこうしたつめの甘さがこの本の読後感を規定しているように思う。たしかに現代社会の一面をすどく切りとった興味深い内容であり、問題提起の書としては一級のものである。だがその一方で、この本にはなにかしら誇大宣伝の気配がただよっている。統計データをきちんと処理してパラサイト・シングル問題の数量的ファクターを確定していくのは、これからの仕事なのだろう。

2.2 まとめ

これまで社会科学の世界では、成人した子供はまず親から独立して単身生活をし、結婚してはじめて「世帯」をもつ、という現実ばなれしたモデルがはばをきかせてきた。親同居未婚者の統計的な把握がおくれてきたのは、そうした学界の状況による。パラサイト・シングルの出現は1970年代のことだということから、20年以上おくれてやっと学問が現実においついたところである。パラサイト・シングル層をめぐる問題の存在があきらかになったいま、その問題はどれほど深刻なものなのか、またそれに対する政策にどれほどの効果を期待できるのか、といった疑問にこたえる実証研究が進展することを期待したい。

1. ブロック単位の書きかた
2. Paragraph (段落)
3. Section (節)

1

【ブロック単位の書きかた】

論文の文章はブロックを積み上げるようにして書いていく

2

【パラグラフ】

ブロックの最小単位が paragraph (段落)

=ひとつの topic (小主題) について述べた文の集まり

★ 改行して行頭を1字あけてはじめる

3

教科書 p. 59-60 の例

- ① 積もったばかりですきまだらけの雪
- ② 時間がたって「しまって」きた雪
- ③ 足で踏みつけるとどうなるか
- ④ 踏みつけられて密度の増した雪

4

topic sentence = そのパラグラフのトピックを概論的に述べた文

★ トピック・センテンスはパラグラフの最初、2番目、または最後に置くのがよい

★ その他の文は

- ・トピックを展開する文
- ・ほかのパラグラフとの関連を示す文

5

【セクション】

パラグラフを集めてセクション(節)を作る

★ 番号と見出し(表題)をつける

★ セクションは入れ子にしてよい(ただし3レベルくらいまで)

★ 下位レベルのセクション番号は1.1などのようにする(番号で相互参照できる)

6

【例】

1 この本の概要

- 1.1 パラサイト・シングルとは
- 1.2 パラサイト・シングル社会の特徴
- 1.3 日本はなぜパラサイト・シングル社会になったか
- 1.4 著者の提言

2 この本への評価

- 2.1 数量データの信頼性の問題
- 2.2 まとめ

7

★ 最下位レベルのセクションは番号なしでもよい

★ 重要なパラグラフを最初か2番目か最後に

★ セクションは細かく分けるほうがよい。
(1セクションは6パラグラフまで:
まえがき+起承転結+あとがき)

8

現代日本論講読 I (田中 重人)
2001.6.6 課題

氏名：
学年：
所属：
学生番号：

別紙の文章（朝日新聞「天声人語」2000.7.4）を読んで、
(1) 適当なパラグラフに区切りなおし、
(2) 各パラグラフのトピックを簡単にまとめなさい

文の番号	トピック

現代日本論講読 I (田中 重人)
2001.6.20 前回課題解答例

氏名：
学年：
所属：
学生番号：

別紙の文章（朝日新聞「天声人語」2000.7.4）を読んで、
(1) 適当なパラグラフに区切りなおし、
(2) 各パラグラフのトピックを簡単にまとめなさい

文の番号	トピック
(1)～(5) 【なくてもよい】	牛乳を飲んで嘔吐や下痢を起こすケース
(6)～(9)	雪印乳業の牛乳による食中毒事件では、同社の対応に誠意がなかった
(10)～(17)	雪印社長の記者会見で、工場長からの情報が社長に伝わっていないことが明らかになった
(18)～(20)	参天製菓の事例では消費者の評価は高かった
(22) (21)	雪印では客離れがひろがって、同社の損失になっている

1. 文は短く
2. 「逆茂木型」を避ける
3. 経過的多義性の克服
4. つなぎのことば
5. 視点を固定する

1

【わかりやすい文章とは】

- ・ 読んでから意味をつかむまでの時間が短い
- ・ 重要なポイントに目が行く
- ・ いい加減に読んでも誤解しない

2

【文は短く】

- ★ 書きたいことをリストアップ
- ★ 短い文にまとめる
- ★ ならべかたを工夫する
必要ならつないで複文に

3

【「逆茂木型」を避ける】

- ★ 長い修飾節をつかわない
- ★ 修飾節を入れ子にしない
- ★ 古い情報を前に

4

【経過的多義性】

先まで読まないという意味の確定しない部分をふくむ文章

5

【つなぎのことば】

文頭に接続詞・副詞句などを適切に配置して文章の前後関係を示す

- ・ 帰結
- ・ 理由
- ・ 逆接
- ・ 対照
- ・ 例示
- ・ 類似
- ・ 要約
- ・ 仮定
- ・ 条件
- ・ 焦点の絞込み
- ・ 情報の追加
- ・ 話題転換
- ・ 古い情報の確認

6

【視点を固定する】

- ★ ひとつの文の中では、
意味上の主語を一貫させる
- ★ パラグラフの中でも、視点は
固定しておいたほうがよい

7

【参考文献】

- 杉原 厚吉 (1994) 『理科系のための英文作法』中央公論社。
- 木村 泉 (1993) 『ワープロ作文技術』岩波新書。
- 藤沢 晃治 (1999) 『「分かりやすい表現」の技術』講談社。

8

第11回「相互批評」(田中 重人)

- 「長期課題 I」匿名提出分をランダムに配布
- 赤ペンでコメント
- 授業終了時に自分のを持ち帰る
- コメントを参考に書きなおして、7/11 授業時に提出

相互批評

おかしいところ、わかりにくいところ、間違いをみつけて、赤ペンでチェックを入れる。
校正記号 (教科書 p. 171) を参考にするとよい。

チェックリスト

セクション

- 番号にまちがいはないか。
- 適切な見出しがついているか。
- セクションのわけかたは適切か。もっとこまかくわかるべきところはないか。
- セクションの順序は適切か。

パラグラフ

- パラグラフの最初は改行して1字下げできているか。
- パラグラフの区切りかたは適切か。もっとこまかくわかるべきところ、逆にまとめるべきところはないか。
- パラグラフをならべる順序は適切か。
- 第1文・第2文・最後の文のどれかがトピック・センテンスになっているか。

用語

- おなじ概念は一貫しておなじ用語であらわしているか。
- ちがう概念におなじ用語を使っていないか。
- 一般的でない用語には定義をつけているか。

引用・参照

- 引用・参照の範囲は明確か。
- ルールにしたがって出典が示されているか。
- 著作権やプライバシーに関する問題はないか

その他

- 事実と意見を区別できているか。
- 飛躍のある文章がないか。
- 主語がはっきりしているか。
- 視点がむやみに移動しているところはないか。
- あいまいな単語や文章がないか。
- 指示語の指示対象がずれているところはないか。
- 文を分割したほうがよいところはないか。
- 「逆茂木型」になっているところはないか。
- 読点を打つ場所は適切か。
- 漢字で書いたほうがよいことばや、逆にひらがなのほうがよいことばはないか。
- つづりまちがひ、同音異義語の誤変換などはないか。
- つなぎのことばは適切か。
- とってしまったほうが意味がはっきりするようなことばはないか。
- 文章のどこどこがどう関連しているかがはっきりしているか。

0. 長期課題に関して

1. 論文執筆の順序
2. テーマの決定
3. 情報収集
4. 書きおろし

1

【長期課題 I に関して】

- ★ 本文は明朝体など
- ★ 行間はひろめにとる
- ★ 修飾語は短く
- ★ 主語を省略しない

2

【長期課題 II に関して】

- ★ テーマを決めて 7/18 に提出
- ★ 本体は期末レポートとして提出
(期限未定)
- ★ 文献 2 本以上を参照すること
- ★ 提出前に誰かに読んでもらうこと
(謝辞に明記する)

3

【論文執筆のプロセス】

1. 着想、情報収集、構想
独創的で有用なアイデアに
適切なデータを。先行研究をフォロー。
2. 書きおろす
とにかく文章にする
3. 磨く
何度も読み直す、人に読んでもらう

4

【先行研究のフォロー】

まず基礎的な情報を仕入れる

- 人に聞く(教員・大学院生など)
- いい入門・概説書を見つける(本屋など)

★ 基本的な用語
★ その分野の常識的な知識
★ 既存の論争などの対立軸、学派の違い

5

そのあと網羅的に文献探索

- 概説書の文献表から「芋づる式」に
- 論文データベースを利用
「雑誌記事索引」が図書館で利用できる
その他インターネット上のサービスも

6

【構想を立てる】

- ★ 目標規定文
全体のテーマを 1 文で表現
- ★ 目次案(スケッチ・ノート)
かかなければいけない要素を書き出して、
配列を工夫
カードの利用も効果的(KJ法など)

7

【書きおろし】

構想にしたがって文章にしていく

- ★ 書きやすいところから
- ★ 図表を活用する

8

【参考文献】

- 梅棹 忠夫 (1969) 『知的生産の技術』 岩波書店。
- 川喜田 二郎 (1967) 『発想法』 中央公論社。
- 東北大学図書館、「雑誌記事索引ファイル 試行サービス」
<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/zassaku/za.html>
[9月まで]。
- 岡本 真、「Academic Resource Guide」
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>。

9

2001.6.27

せんだいメディアテーク 「活版印刷工場」 見学会のお知らせ

7/5(木) 午後、せんだいメディアテークの「活版印刷工場」の見学会をおこないます。「現代日本論購読 I」の課外授業としておこなうものですが、受講者でないかたの参加も歓迎します。活版印刷というものに興味をお持ちのかたはふるってご参加ください。

記

日時： 7月5日(木) 12:40 現地集合
～ 14:00 ごろまで (現地解散)

集合場所： 「せんだいメディアテーク」(smt) 1F 入り口付近

smt までの交通： 市営バス「メディアテーク前」すぐ。
地下鉄「匂当台公園」下車「公園 2」出口から徒歩 5 分。

連絡先：田中重人（日本語教育学研究室）
内線 5995
e-mail tsigeto@nik.sal.tohoku.ac.jp

1. テーマをしばり込む
2. 論文の基本構成
3. 期末レポート(長期課題 II)について

1

【テーマをしばり込む】

- ★ 課題の性質(注文者と読者)
- ★ 自分の興味
- ★ オリジナルな内容を盛り込めるか
- ★ 長さの制限 ★ 時間の制約

(教科書 p.13-21)

できるだけ小さいテーマに特定する。
より大きな研究につながるものが望ましい。

2

【目標規定文の例】

(本稿では……ことを示す)

- 冷春、空き缶の利用法(教科書 p.23)
- 「日本人の労働時間は1990-2000年の間に増加した」
- 「サラダ油よりバターのほうがカロリーが低い」
- 「日本の外国語教育が英語一辺倒になった原因は戦後の教育改革にある」

結論を出してから書きはじめる。
ただし途中で修正してよい

3

【論文の構成】

- 種別・表題・著者名・所属・日付
- 要約・キーワード
- 本文(図表などふくむ)
- 注
- 付録・資料
- 文献表
- 謝辞

4

【表題のつけかた】

- ★ 対象と方法を具体的に示す
- ★ 短いほうがよい ★ 副題をつけてもよい

例: 「冷春化: 1950-2000年の平均気温の変動」
「スチール製空き缶の効率的利用法」
「1990年代の労働時間の趨勢」
「サラダ油とバターのカロリー比較」
「戦後教育改革と外国語教育: なぜ英語中心になったのか」

5

【キーワードをえらぶ】

論文のキーワードとなるものをえらぶ
(本来はデータベースでの検索用: 3-5個程度)

例: ・気候変動, 平均気温, 都市化, エル・ニーニョ
・鉄スクラップ, バクテリア・リーチング, 分離工学
・労働時間, サービス残業, 不況, 失業率
・熱量, 植物性油脂, 動物性油脂, コレステロール
・戦後教育改革, 指導要領, 中学校

6

【謝辞の例】

- 「草稿に対する〇〇(××大学△△学部)氏の助言によって文章が大幅に改善された」
- 「xx節の□□は〇〇(××大学△△学部)氏のアイデアによる」
- 「本稿で使用した□□データは〇〇研究所所蔵のものを貸与していただいた」

7

【本文の構成】

論文の基本形(教科書 p.34-41, 202-204):

- 序論(問題の所在, 背景, 具体的目標, 方法, 論文全体の構成)
- 本論(内容にしたがってセクションに分割)
- 結論(主要な知見のまとめ, 意見にわたる考察, 今後の発展の可能性)

8

【本論の基本形】

事実だけを正確に伝えるのが基本

- 仮説(その論文の立場, 前提)
- 材料と方法
- 分析結果

9

【長期課題Ⅱ】

7/18 「目標規定文」とその時点での構想

8/29 期末レポートとして提出

提出先: 田中研究室 (文法合同棟 2F)

田中が不在のときは 205 室のレターケースへ

- ★ 文献 2 本以上を参照すること
- ★ 提出前に誰かに読んでもらう(謝辞に明記)
- ★ キーワード 3 語以上を本文の前につける
- ★ 分量は A4 用紙 6 枚以上

1. 図と表
2. 箇条書きなど

1

【表と図】

表 (table) …活字と罫線で行列型に組む。

図 (figure) …活字・罫線以外の要素を含む。グラフのほか、概念図や写真を使うことも

2

【表と図の約束ごと】

★「表 1」「図 1」のようにそれぞれ通し番号をつけて参照

★ 表のタイトルは上、
図のタイトルは下

★「それだけでわかる」ように

(教科書 p. 206)

3

★ グラフは細かい数字がのせにくいし、紙幅を食う。ただし視覚的インパクトの点ではグラフに分がある

★ 表・図ともに下端に注釈をつける：
単位，出典，原データなど

4

【表の注意事項】

- ★ 縦罫線はなるべく引かない
- ★ 文字列は左揃え、数字は小数点揃えが基本
- ★ タイトル、表本体、注釈を読めばそれだけでわかるように書く
→タイトルと行・列頭の見出し (heading) を工夫する

5

【図の注意事項】

グラフ……適切な種類をえらぶ
マーカー，線，網掛けなど判別しやすく
概念図・フローチャート……概念のレベル・性質を明確に

他人が権利を持つ図面・写真などを転載するときは
権利者の許諾を得た上で、それを図中で明記する

6

【箇条書き】

箇条書きのポイント

- ★ 行頭文字の選択
- ★ 文にくくりこむか、独立させるか
- ★ 前後の行間を空けるか
- ★ 見出しつきの箇条書きもある

7

【その他のオブジェクト】

- ・ 数式
- ・ フォーマルな命題 (定理など)
- ・ ブロック引用など

地の文にうまく混ぜることで、
重要な部分を目立たせる

8

【来週の予定】

「長期課題 I」の採点結果を返却します。
田中研究室 (文法合同研究棟 2F) に
14:00-16:00 の間にとりにきてください。

9

現代日本論講読 I (田中 重人)

2001.7.18 課題

氏名：

学年：

所属：

学生番号：

別紙の資料をもとに、

- (1) ワープロ入力状態表示を表にまとめなさい
- (2) 「電子メールのもたらすこと」を、箇条書きを含む文章にまとめなさい

長期課題I 採点結果

氏名:	
学年: 2. 3. 4. その他:	様式・表題・所属など (3点)
所属: 学部	セクション, パラグラフ (3点)
番号:	用語 (3点)
	引用・参照 (3点)
	オリジナリティ (3点)
	文章 (3点)
	ボーナス (2点)
	合計 (20点)

- 原稿には、赤 (要修正箇所)、青 (疑問点やコメント)、緑 (よい箇所) のペンで書き込みをしております。
- 「ボーナス」は特に面白い意見や文章表現に点を与えているものです (前項の緑色マークに対応)。
- 9/5までに修正して再提出すれば、+5点以内の範囲で加点します。

項目別詳細 (× = 問題あり)

様式・表題・所属など

- 規定の分量に達しているか。
- 上下左右の余白はじゅうぶんか。
- 行間がつまりすぎていないか。
- 本文の文字種。
- 表題は適切か。
- 素材の書誌情報がきちんと書いてあるか。
- 氏名・所属がきちんと書いてあるか。

セクション, パラグラフ

- セクション番号にまちがいはないか。
- セクションには適切な見出しがついているか。
- セクションのわけかたは適切か。もっとこまかくわかるべきところはないか。
- セクションの順序は適切か。
- パラグラフの最初は改行して1字下げできているか。

- パラグラフの区切りかたは適切か。こまかくわかるべきところ、逆にまとめるべきところはないか。
- パラグラフをならべる順序は適切か。
- パラグラフの第1文・第2文・最後の文のどれかがトピック・センテンスになっているか。

用語

- おなじ概念は一貫しておなじ用語であらわしているか。
- ちがう概念におなじ用語を使っていないか。
- 一般的でない用語には定義をつけているか。

引用・参照

- 素材の内容をわかりやすく要約できているか
- 引用・参照の範囲は明確か。
- ルールにしたがって出典が示されているか。
- 著作権やプライバシーに関する問題はないか

オリジナリティ

- 著者のオリジナルな意見が示されているか。
- 根拠づけられた説得力のある意見になっているか。

文章

- 事実と意見を区別できているか。
- 飛躍のある文章がないか。
- 主語がはっきりしているか。
- 視点がむやみに移動しているところはないか。
- あいまいな単語や文章がないか。
- 指示語の指示対象がずれているところはないか。
- 文を分割したほうがよいところはないか。
- 「逆茂木型」になっているところはないか。
- 読点を打つ場所は適切か。
- 漢字で書いたほうがよいことばや、逆にひらがなのほうがよいことばはないか。
- つづりまちがいが、同音異義語の誤変換などはないか。
- つなぎのことばは適切か。
- 文章のどことどこがどう関連しているかがはっきりしているか。

長期課題 II 採点結果

氏名:	
学年: 2. 3. 4. その他:	様式・表題・所属など (6点)
所属: 学部	セクション, パラグラフ (6点)
番号:	用語 (6点)
	引用・参照 (6点)
	オリジナリティ (6点)
	文章 (6点)
	ボーナス (4点)
	合計 (40点)

- 原稿には、赤 (要修正箇所)、青 (疑問点やコメント)、緑 (よい箇所) のペンで書き込みをしてあります。
- 「ボーナス」は特に面白い意見や文章表現に点を与えているものです (前項の緑色マークに対応)。

項目別詳細 (× = 問題あり)

様式・表題・所属など

- 規定の分量 (A4用紙 6 ページ) に達しているか。
- 上下左右の余白はじゅうぶんか。
- 行間がつまりすぎているか。
- 本文の文字種。
- 表題は適切か。
- 氏名・所属がきちんと書いてあるか。
- 適切なキーワードが 3 つ以上指定してあるか。
- 読んでもらった人への謝辞があるか。

セクション, パラグラフ

- セクション番号にまちがいはないか。
- セクションには適切な見出しがついているか。
- セクションのわけかたは適切か。もっとこまかくわかるべきところはないか。
- セクションの順序は適切か。
- パラグラフの最初は改行して 1 字下げできているか。
- パラグラフの区切りかたは適切か。こまかくわかるべきところ、逆にまとめるべきところはないか。
- パラグラフをならべる順序は適切か。
- パラグラフの第 1 文・第 2 文・最後の文のどれかがトピック・センテンスになっているか。

用語

- おなじ概念は一貫しておなじ用語であらわしているか。
- ちがう概念におなじ用語を使っていないか。
- 一般的でない用語には定義をつけているか。
- 略語を注釈なしで使っていないか。

引用・参照

- 文献を 2 本以上参照しているか。
- 文献表に書誌情報がきちんと書いてあるか。
- 引用・参照の範囲は明確か。
- ルールにしたがって出典が示されているか。
- 引用の際にページ番号等を落としていないか。
- 著作権やプライバシーに関する問題はないか。

オリジナリティ

- 著者のオリジナルな意見が示されているか。
- 根拠づけられた説得力のある意見になっているか。

文章

- 事実と意見を区別できているか。
- 飛躍のある文章がないか。
- 主語がはっきりしているか。
- 視点がむやみに移動しているところはないか。
- あいまいな単語や文章がないか。
- 指示語の指示対象がずれているところはないか。
- 文を分割したほうがよいところはないか。
- 「逆茂木型」になっているところはないか。
- 読点を打つ場所は適切か。
- 漢字で書いたほうがよいことばや、逆にひらがなのほうがよいことばはないか。
- つづりまちがいが、同音異義語の誤変換などはないか。
- つなぎのことばは適切か。
- 文章のどこどこがどう関連しているかがはっきりしているか。